

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書

様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることをご報告いたします。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 物件名称

物件名称	〇〇様邸 アスベスト含有調査 北海道札幌市中央区●●●●丁目xx-xx
------	--

2. お問い合わせ先

名 称	□□□□株式会社	代表者氏名	〇〇〇〇
所 在 地	〒xxx-xxx 〇〇県□□市△△丁目xx番地 TEL: xxx-xxx-xxxx FAX: xxx-xxx-xxxx		
登録番号(作業環境測定機関)	▲▲-▼▼		
連絡担当者	〇〇〇〇〇		

3. 分析を実施した年月日

分析実施日	2021年3月23日	～	2021年3月29日
-------	------------	---	------------

4. 分析結果

試料 No.	採取箇所及び建材名称	定性分析結果		推定石綿 質量分率	分析方法	別添 No.
		石綿の有無	石綿の種類			
1	〇〇様邸 1F 外壁 モルタル外壁	無	—	0.1%以下	JIS A1481-1	1
2	以下余白					
3						
4						
5						
6						
7						
8						

注1) 石綿の種類の中には、次の記号で記載している。

Chr:クリソタイル Amo:アモサイト Cro:クロシドライト Tre:トレモライト Act:アクチノライト Ant:アンソフィライト

報告番号 _____

5.分析実施者

分析方法	氏名	公益社団法人 日本作業環境測定協会が実施した 石綿クロスチェック事業の参加の有無及びランク等
JIS A1481-1:2016	〇〇〇〇	有 (A ランク 認定No. 1909合xxx)
	□□□□	無
JIS A1481-2:2016	〇〇〇〇	有 (A ランク 認定No. 2011Axxx)
	□□□□	無
JIS A1481-3:2014	〇〇〇〇	有 (A ランク 認定No. 2011Axxx)
	□□□□	無

6.使用した測定機器、測定条件

6.1.JIS A 1481-1:2016

・実体顕微鏡

メーカー	ニコン
型式	SMZ745T
倍率	6.7～50倍

・偏光顕微鏡

メーカー	ニコン
型式	ECLIPSE80i
照明系	12V50Wハロゲンランプ (LV-HL50W型)
コンデンサ	LV-CUD
対物レンズ	CFI P×10、×40、CFI DS Ph1×10

6.2.JIS A 1481-2:2016

・X線回折装置

メーカー	島津製作所
型式	XRD-6100
X線対陰極	Cu
管電圧(kV)	40
管電流(mA)	30
単色化(K _β 線の除去)	グラファイトモノクロメータ
フルスケール(cps)	2000
時定数(s)	1
走査速度(° /min)	2
発散スリット(°)	1
散乱スリット(°)	1
受光スリット(mm)	0.3
走査範囲(° ,2θ)	5～70

・位相差・分散顕微鏡

メーカー	ニコン
型式	ECLIPSE80i
照明系	12V50Wハロゲンランプ (LV-HL50W型)
コンデンサ	LV-CUD
対物レンズ	CFI P×10DS、Plan Fluor×40 DS 2

6.3.JIS A 1481-3:2014

・X線回折装置

メーカー	島津製作所
型式	XRD-6100
X線対陰極	Cu
管電圧(kV)	40
管電流(mA)	30
単色化(K _β 線の除去)	グラファイトモノクロメータ
フルスケール(cps)	自動
時定数(s)	1
走査速度(° /min)	ステップスキャンニング
発散スリット(°)	10秒/0.02°
散乱スリット(°)	1
受光スリット(mm)	1
走査範囲(° ,2θ)	0.3
	Chr:10.5～13.5,他5種9.0～11.5

1. 試料採取履歴

採取年月日	年 月 日		
採取箇所(建材名称)	モルタル外壁		
建物、配管設備、 機器等の名称及び用途	名 称	〇〇様邸	
	用 途	塗材	
施行年及び建築物への 施行などを採用した年	1971年10月		
建物などの採取部位 及び場所	採取部位	1F 外壁	
	場 所	北海道〇〇〇市 x x 区□□□□丁目 x x - x x 塗材状	
形状又は材質			
試料の大きさ及び採取方法	JIS A 1481-1 試料の採取法準拠		
採取者氏名	株式会社 西武総業 ●●	採取箇所選定者	株式会社 西武総業 ●●

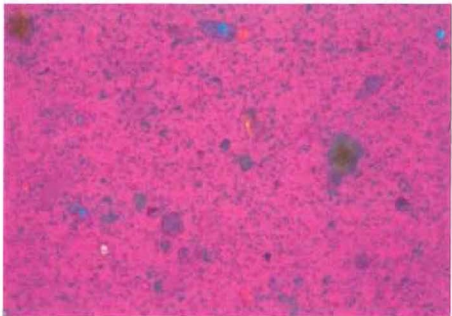
2. 試料調製及び前処理の状況

調整及び前処理実施の有無	調整及び前処理の方法
有	灰化处理(条件:485℃、2時間)、酸処理(酸種類:2mol塩酸)

3. 分析データ

層	部位、形状	色	比率	石綿の有無	石綿の種類	石綿推定含有率
1	コーティング状塗材	淡茶	5%	無	-	-
2	固形状	白	5%	無	-	-
3	コーティング状塗材	白	5%	無	-	-
4	固形状	白	10%	無	-	-
5	骨材含むセメント系固形状	灰	75%	無	-	-

試料観察写真

石綿種類	-		
観察機器	偏光顕微鏡	形態・色	-
視野倍率	400倍	多色性	-
浸液の屈折率	1.550	複屈折	-
室温	25℃	消光角	-
分散色	-	伸長性	-
			

試料観察写真

石綿種類	*****		
観察機器	*****	形態・色	*****
視野倍率	*****	多色性	*****
浸液の屈折率	*****	複屈折	*****
室温	*****	消光角	*****
分散色	*****	伸長性	*****
			